



海と文化の交差点・共創のまち浜田

2004

4/15日号

No.1354

広報

はまだ

編集・発行 浜田市総務課 ☎0855-22-2612

<http://www.city.hamada.shimane.jp>

E-mail: info@city.hamada.shimane.jp

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地



春うらら

市役所裏の桜が綺麗に咲きました。春の訪れを感じさせる桜です。時々、道行く人たちが足を止めて桜を見学していました。
(3月31日(水)撮影)

主な内容

- ◇ 第3回「市町村合併に関する市長懇話会」での主な意見と回答…2・3
- ◇ 人事異動（浜田市・浜田地区広域行政組合）……………4・5
- ◇ 受けてみませんか！国民健康保険「脳ドック」……………6
- ◇ 島根県立大学ニュースvol.7……………8

浜田市市民憲章

昭和五十五年十一月三日制定

わたくしたちは 日本海の美しい自然と
温かい人情を誇る浜田市民です
明るい豊かな浜田をつくるために この
憲章を定め力をあわせて進みます

- きまりを守り よい習慣を育て
- きれいな住みよいまちをつくります
- 働く喜びをもち 産業をおこし
- 豊かなまちをつくります
- からだを鍛え 健康で
- 平和な家庭をつくります
- 教養を高め 若い力を伸ばし
- 清潔で活力あるまちをつくります
- 老人をうやまい ことも大切にし
- 明るい社会をつくります

第3回 「市町村合併に関する市長懇話会」での主な意見と回答

2月20日(金)から29日(日)の間、市内9地区で開催し、合計439人の皆さんが出席しました。主な「意見と回答を紹介しましょう。」

また、「広報はまだ」4月1日号と一緒に配布した「合併協議会 中間報告書」とあわせて「ご覧ください。」

自治区制度について

(中間報告書P4参照)

●自治区を設置することで、事業の効率的な執行が妨げられるのではないかと。

●設置期間は当面10年間とあるが、その根拠はどこにあるのか。

(回答)

▽合併すると中心部に吸収され、まちがさびれるという不安感があり、那賀郡から自治区を設置してもらいたいとの要望があった。非効率になる面もあるかもしれないが、住民の不安を解消するためには、地域住民の声を吸い上げる制度を作ることが大事であると考え、自治区を設置することになった。

▽自治区の意義は、自治意識を根付かせることに尽きる。設

置期間は新市の建設計画期間の10年間に合わせている。

自治区長について

(中間報告書P6参照)

●助役級の区長を置く必要があるのか。

●今までの首長がそのまま区長になり、旧態依然とした行政運営が引き継がれる恐れがある。自治区長に民間人の登用や公募など、自治区に改革が進むような選出方法を検討して欲しい。

(回答)

▽合併により新たな風を入れることも大切だが、地域のことば地域でやってもらおうということ、区長は地域の中から人選した方が良いと思う。地域の伝統などを大事にするためにも、住んでいる人が検討するのが一番であると思っ

地域協議会について(自治会との関係など)

(中間報告書P7参照)

●自治会と地域協議会の関係、議会と地域協議会の関係、現行の嘱託員制度、連絡係はどうなるのか。

▽自治会は任意団体であるが、地域協議会には、地域の自治会などから委員を推薦してもらって、市長が選任することになっている。自治会には、引き続き独立した組織として活動してもらいたい。

(回答)

▽地域協議会は、議会とは異なり、自治区ごとに当該区域に係る事項について、市長または自治区長に答申・建議することとなる。

▽嘱託員制度、連絡係は現行のとおり残す予定である。

▽合併による経費削減について(職員数・給与)

(中間報告書P8、27参照)

●合併により大幅な経費削減を図るとしているが、中身は人件費削減の他に何があるのか。

●職員数の推移について、12年間で160人程度の削減ではない。もっと職員数を減らして適正な人員にして欲しい。

(回答)

▽経費削減の主なものは人件費で、そのほかに物件費、補助費などがあり、10年間で約

159億円の削減効果を見込んでいる。給与体系は、基本的には首長と職員組合との交渉によるが、厳しい財政状況の中、適正な水準に調整していくよう、合併協議会で方針を検討している。

▽職員数の推移は、12年間の定年退職者とその1/3を採用するイメージ図である。民間委託などの行財政改革を実施することにより、実際はもっと早く減ると考えている。

●議会議員について(定数・任期など)(中間報告書P8参照)

●合併により議員の人数、報酬はどうなるのか。

●議員の任期は、削減効果が見えるよう、特例を続けずに法定数の30人に早く近づけて欲しい。

(回答)

▽合併協議会の小委員会において議論している。

▽現在、5市町村で議員数は76人。在任特例を適用すれば、全議員が2年以内まで在任できるが、他市の例では7ヶ月〜13ヶ月程度が多い。

▽定数特例を適用すれば、最初の選挙で最大60人まで定数を

増やせる。報酬との関係もあり、そうなることはないと思う。

新市名について

(中間報告書P3参照)

●ほとんどの市民(応募の約8割)が「浜田市」を推薦している。歴史と伝統のある名称であり、何となく残してもらいたい。

(回答)

▽新市名は「浜田市」になるようにしたいが、田湍に新市が誕生するよう、合併することが決定してから名称を決めるのがよいのではないかと考えている。

▽数が多いものに決まるものだが、すぐにそうならない難しい面があり、町村から信頼されて合併できるように慎重に協議していきたい。



産業振興について

(中間報告書P21参照)

●新市の基幹産業および中山間地域の農業振興策についてはどうなるのか。

(回答)

▽基幹産業について、浜田市は海のイメージが強いが、合併を契機に水産業だけでなく、農業、林業も那賀郡と連携して推進していきたい。

合併の時期

(中間報告書P22参照)

●合併特例法が1年延長になると聞いたが、浜田市は17年3月までに合併するのか。

(回答)

▽現在のスケジュールでは、平成16年11月に協定書に調印して、12月に議会の議決を受ける予定。17年3月までに県知事への申請を済ませ、17年8月以降に合併の予定である。

市民サービスと負担について

(中間報告書P9～13参照)

●合併すると市民の負担やサービスはどうなるのか。

(回答)

▽市民全体で、年間約1億円の負担が軽くなるよう協議している。決まり次第第一括して示

学校について

(中間報告書P12参照)

●小学校を中心に地域がまとまっているので、できるだけ学校の統廃合はやめてほしい。

(回答)

▽学校の統廃合は、合併とは切り離して考えている。今のところ合併により統合することは考えていない。



駐車場について

●合併すれば市役所にたくさん人が行く事になるが、駐車場は十分にあるのか。

(回答)

▽現在、市役所周辺の駐車スペースを、無断駐車禁止や公用車の移動、田町倉庫跡の整備、子育て支援センターの駐車場の利用などで85台から131台まで増やしている。

▽市役所周辺を整備する「シビックコア計画」の中で、地下駐車場を300台くらい確保するよう検討している。

国際ことわざ

国際交流員 デイビッド・ベスター

浜田市の皆さん、こんにちは！ お元気ですか？

最近、“ことわざ”にちょっと興味を持っています。意味が深く日常生活に役立つ忠告が、短い文で言い表されているのはおもしろいと思ったからです。ですから、ここで、私の母語（つまり英語）の“ことわざ”を紹介したいと思います。

“The early bird gets the worm”

一朝早く起きた鳥はミミズを捕まえることができます。

この“ことわざ”の意味は何でしょうか？何かを得るために、遠慮なく早くやった方がいいという意味です。

日本語に、このような意味の“ことわざ”がありませんか？“早起きは三文の得”という“ことわざ”を聞いたことがあるでしょう。言葉や状況は違いますが、同じような意味を持っていると思います。

世界の諸文化には、いろいろな違いがありますが、もう少し深く考えてみると、根底には同じような考え方が必ずあります。国際理解では様々な国のいろいろな違いに注目するのは珍しくないと思いますが、“違う”こと（例えば、日本には、夏は6月から始まりませんが、オーストラリアには、夏は1月から始まりです。）より、“似ている”こと（例えば、日本とオーストラリアにも四季があって、同じ順番に続きます。）を大事にしなければならないと思います。“ことわざ”

は、“違いがあっても、似ていることもあります”という考えをよく示していますので、異文化を理解するために、とても適当な方法の1つだと思います。

次のような4つの英語の“ことわざ”があります。ほかの言語にも同じような“ことわざ”があるでしょう。

“Even Homer sometimes nods”

詩人ホメロスでも間違いがある
(弘法にも筆の誤り)

“Out of the frying pan, into the fire”

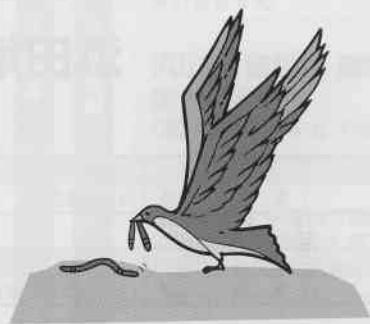
フライパンから逃げたのに、火に落ちる
(一難去ってまた一難)

“Birds of a feather, flock together”

同じ羽毛の鳥は相寄る (類は友を呼ぶ)

“Too many cooks spoil the broth”

料理人が多すぎるとスープができそこなう
(船頭多くして船山に登る)



人事異動

浜田市

市は、4月1日付けで人事異動を行いました。係長級以上の異動および新規採用ならびに退職者をお知らせします。

【部長級】

新役職名	氏名	以前の職名など
総務部長	岡田 昭二	総務部次長
福祉環境部長	佐藤 正藏	管財課長
議会事務局長	天野 孝	総務課長併任選挙管理委員会書記長
教育部長	桑田 巖	文化振興課長
消防部長	倉本 香	(浜田地区広域行政組合)

【次長級】

新役職名	氏名	以前の職名など
総務部次長	芦谷 英夫	福祉環境部次長
経済部次長	湯屋口 初實	商工観光課長
福祉環境部次長	福原 稔之	健康長寿課長

【課長級】

新役職名	氏名	以前の職名など
総合調整室長	田野 正幸	地籍管理課長
総務課長併任選挙管理委員会書記長	近重 哲夫	情報管理課長
市町村合併推進室長	光野 良二	総合調整室政策推進係長
管財課長	土井 敏實	建築住宅課指導係長
税務課長	平野 一茂	地域政策課専門員(浜田地区広域行政組合派遣)
情報管理課長	勝田 秀幸	豊かな海づくり大会推進室長
商工観光課長	石本 一夫	総合調整室長
地籍管理課長	大前 昭司	環境課環境保全係長
健康長寿課長	長野 昭三	税務課長
文化振興課長	高松 政美	監査委員事務局長併任公平委員会事務職員
監査委員事務局長併任公平委員会事務職員	能美 稔	浜田市立松風園長
警防課長	釜田 致博	(浜田地区広域行政組合)

【係長級】

新役職名	氏名	以前の職名など
総合調整室政策推進係長	江木 弘	議会事務局議事係長
総務課防災交通係専門員	吾郷 弘章	(島根県警察)
市町村合併推進室市町村合併推進係長	有福 修	子育て支援課保育係長
人事課人事係長	湯浅 淳	人事課給与係長
人事課給与係長	渡邊 敏明	教育総務課庶務係長
市民課総合窓口係長	村瀬 美津恵	議会事務局庶務係主任主事
地域政策課地域振興係専門員(浜田地区広域行政組合派遣)	遠 勝朗	環境課清掃対策係主任主事

【係長級】

新役職名	氏名	以前の職名など
地域政策課国際化推進係長	斗光 秀基	教育総務課学事保健係長
農林農林土木係長	吉川 直哉	建設整備課維持係長
建設整備課維持係長	岸本 隆	農林課農林土木係長
地籍管理課管理係長	吉田 昭男	下水道課業務係長
建築住宅課指導係長	佐々木 巧	建築住宅課指導係主幹
下水道課業務係長	下垣 博史	地籍管理課管理係長
子育て支援課保育係長	松山 レイ子	浜田市立松風園事務長
環境課環境保全係長	川神 昌暢	地域政策課国際化推進係長
議会事務局議事係長	田中 政行	生涯学習課生涯学習係長
教育総務課庶務係長	小川 克巳	人事課人事係長
教育総務課学事保健係長	坂田 歩	豊かな海づくり大会推進室豊かな海づくり大会推進係長
生涯学習課生涯学習係長	河上 やすえ	市民課総合窓口係長
浜田市立石見幼稚園教頭	引田 典子	浜田市立周布幼稚園教頭
浜田市立周布幼稚園教頭	小川 静江	浜田市立石見幼稚園主任教諭
水道部水源係長	日高 均	水道部漏水防止係主幹水道技師

【新規採用】

	氏名	以前の職名など
	宮本 葉子	
	新谷 翼	

【退職・3月31日付け】

	氏名	以前の職名など
	小川 明夫	総務部長
	小松原 尚宏	福祉環境部長
	沖野 邦男	議会事務局長
	畑岡 正弘	教育部長
	山本 晋也	消防部長
	山本 節子	長浜保育園保育係長
	大谷 慶子	石見幼稚園教頭
	驛 享	学校給食センター専門員
	河上 一男	水道部水源係長
	田邊 武司	総務課防災交通係専門員
	渡邊 喜代子	松風園班長
	牛尾 敏江	松風園主幹給食調理員
	土屋 雪江	学校給食センター給食調理員
	池田 和子	市民課主事

浜田地区広域行政組合

【部長級】

新役職名	氏名	以前の職名など
消防長	倉本 香	浜田消防署長

(教育委員会)

新役職名	氏名	以前の職名など
事務局長	桑田 巖	(浜田市職員併任)

【課長級】

新役職名	氏名	以前の職名など
総務課長	猪木迫 孝	総務課総務係長

(消防本部)

新役職名	氏名	以前の職名など
予防課長	本多 勇	警防課長
警防課長	釜田 致博	警防課通信機械係長
浜田消防署長	杉浦 裕正	予防課長

【係長級】
(事務局)

新 役 職 名	氏 名	以前の職名など
総務課総務係長	邊 勝 朗	(浜田市職員派遣)
総務課企画係長	畑 中 秀 幸	(江津市職員派遣)
業務課浜田清掃第一処理場業務係長	志 波 和 俊	業務課浜田清掃第三処理場業務係長
業務課浜田清掃第三処理場業務係長	山 崎 択 野	業務課浜田清掃第一処理場業務係長

(消防本部)

新 役 職 名	氏 名	以前の職名など
予防課予防係長	森 脇 真 治	浜田消防署第二係長
警防課救急救命係長(兼)浜田消防署救急係長	河 上 晴 夫	浜田消防署弥栄分遣所長
警防課通信機械係長	梢 江 勉	浜田消防署第一係長
浜田消防署第一係長	脇 元 英 壽	警防課救急救命係長(兼)浜田消防署救急係長
浜田消防署第二係長	大 驛 興 次	浜田消防署桜ヶ丘分遣所長
浜田消防署桜ヶ丘分遣所長	田 中 清	浜田消防署消防司令補
浜田消防署弥栄分遣所長	佐々木 浩 次	予防課予防係長
浜田消防署消防司令補	田 原 英 治	浜田消防署消防主幹
浜田消防署消防司令補	本 田 教 司	総務課付消防主任・島根県派遣

【新規採用】
(消防本部)

氏 名	以前の職名など
三 明 由 敬	

【退職】(平成16年3月31日付け)
(消防本部)

氏 名	以前の職名など
山 本 晋 也	消防長

【解除】(平成16年3月31日付け)
(事務局)

新 役 職 名	氏 名	以前の職名など
(浜田市へ)	平 野 一 茂	総務課長
(江津市へ)	豊 田 寿 人	総務課企画係長

(教育委員会)

氏 名	以前の職名など
畑岡 正弘	事務局長

お知らせ
と
お願い

一般国道9号

浜田・三隅道路が「都市計画決定」されました。

この度、浜田・三隅道路の都市計画決定が決定したことにより、
浜田・三隅道路事業は、測量・地質調査・設計に着手します。

引き続き道路事業への一層の
ご理解とご協力をお願いします。



道路の
できるまで

- 基本計画
- ルートの説明
- 都市計画決定
周辺地域の道路計画、土地利用計画などの整合を図るために都市計画決定を行います。
- 測量・地質調査・設計
- 関係者の皆さんと設計協議
- 仮幅杭の設置
- 関係者の皆さんと現地協議
- 幅杭・用地測量・補償物件調査
- 用地買収・物件補償
- 工事説明会
- 工事着手
- 完成・供用

問い合わせ先

浜田市 建設部 建設企画課
国県事業係
(☎ 内線 415・416 FAX 22 6500)

国土交通省 中国地方整備局
浜田河川国道事務所 調査設計課
(〒697-0034相生町3937
☎ 22 2480 FAX 23 5023)